

ヒヤリ・ハット事例

	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項
1	事務所で	外階段を下りる時	雨の影響で水溜りがあり、滑りそうになった。	階段へ滑り止めテープを付ける。
2	中間処理場で	医療廃棄物を降ろす為、コンテナ車の扉を開けた時	積み込んだペール缶が頭に落ちてきた。	1. 荷崩れしないように、奥は高く扉の近くは低く積む。2. 扉を開閉する時は、ゆっくり開け内部を確認し、安全を確かめてから作業を行う。3. 荷崩れ防止の為、急発進・急停車をしない。
3	解体中のビル内で	作業用の荷物を上の階へ運ぶ時	古いビルの為、階段のステップがとても狭く、作業中のボードや木くずの破片が落ちていたこともあり、足を踏み外しそうになった。	足元はよく注意し、可能であれば手すりを掴む。
4	回収先で	入門記帳をしている時	サイドブレーキの引きが甘く、車両がゆっくり動き出した。	停車、駐車の場合、少しの間でもサイドブレーキをしっかり引き、確認する。
5	高速道路で（東北道）	返却フロンポンペを運送中	フロンポンペの数が極端に少なかった為、ロープでは完全に固定できず、ブレーキ操作時にロープが外れそうになった。	平ボディーでポンペをそのまま積むのは危険であり、現在はシートを被せるか、コンパネで固定しているが、専用の固定治具や固定器具を使用するのが望ましい。
6	一般道路の交差点で（板橋区中台）	停車中に地図を見ている時	フットブレーキから足が離れてしまい、自車が動き出したことに気付かず、前車に接触した。	少しの間でも、停車中はサイドブレーキを引く。
7	現場で（千葉県市川市）	バックカー車に積み込み作業中	冷蔵庫を積もうとしたところ、扉が外れて落ちてきた。	運ぶ際、扉は上向きにし開いたり外れたりしないよう、きちんと止める。
8	現場で（港区）	廃棄物回収作業中	右ミラーをまげる時、自転車か猛スピードで走ってきた。	車以外にも注意が必要。
9	現場で（中央区）	家電製品の積み替えをしている時	コンパネを立てようと持ち上げたら、風にあおられて荷台から落ちそうになった。	コンパネは、あまり高く持ち上げようとせず、風の強い日は特に注意して運ぶ。
10	一般道路で（品川区）	荷物を積み、工場へ運送中	キャスター付メッシュパレットが荷台で動いた。	出発前に荷台の確認と、荷物の固定を必ず行う。
11	現場倉庫内で	2 m ³ タンクから廃液を吸引中	タンクが一杯になり、廃液が流出してしまった。倉庫内が暗かった為、気付かなかった。	倉庫内など暗い作業場の場合は、ライトを持参する。
12	自社倉庫内で	廃家電を降ろし、次の日リサイクル処理場へ運搬しようとしたところ	バックカーでまかれた。倉庫内に降ろした為、勘違いされたい。	倉庫内に廃家電を降ろさない。
13	高速道路で（常磐道）	回収作業に行く途中	数台前で事故が発生し、前車が急ブレーキを掛けた。	車間距離を十分にとり、制限速度を守る。

	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項
14	一般道路で（自社付近）	交差点を通過しようとした時	自転車が飛びだしてきた。	周りをよく確認しながら運転する。
15	自社駐車場で	トラックを駐車した時	トラックが急に動き出し、前の車と接触しそうになった。駐車した際にHSA（坂路発進補助装置）が作動した為、サイドブレーキを引かずに車を降りてしまった事が原因である。	最後まで気を抜かない。
16	工場周辺で	運転中	十字路を急に自転車が飛びだして来た。	運転手の根性。
17	一般道路で	トラックを運転中	脇道から、乗用車が左右の確認もせずに自車の前に入ってきた。	少しでも危険を感じたら、ブレーキを踏みいつでも停まれるよう準備しておく。
18	高速道路で（埼玉県浦和区）	料金所（ETC）を通過しようとした時	ETC通信がうまく作動せず、開閉バーが開かなかった。	いつでも停まれるよう、ゆっくり通過する。
19	一般道路で	狭い十字路を通過しようとした時	自転車が飛びだしてきた。	飛びだしてくる可能性があるかと予測し、よく確認する。
20	一般道路で（埼玉県戸田市）	信号が青に変わり、交差点を通過しようとした時	赤信号になっている筈の道路から車が飛びだしてきて、目の前を通過した。	信号が変わっても直ぐ発進せず、左右よく確認する。
21	一般道路で	フロンのドラム缶をトラックからフォークリフトで降ろそうとした時	フォークリフトのドラムクリッパーで掴みバックしたら、ドラムが落ちてしまい、後ろから来た車にぶつかりそうになった。	荷台の上にいる作業員に確認してもらい、バックする時は慎重に、荷を降ろす時もゆっくり降ろす。
22	工場内で	中和用の硫酸を作っている時	硫酸のポリドラムから、電動ポンプで硫酸を吸い出し始めたら、ホースの根本にピンホールが出来ており、硫酸が漏れて危うく自分にかかる所だった。	機材等の始業前点検をきちんと行う。
23	現場の駐車場で	積み込み作業中	誘導し危険を避けなければならない立場なのに、後ろから来た車を見落としてしまった。	前後左右の確認をもっと慎重に行う。
24	現場で	フォークリフトの運転中	工場から外に出ようとしたら、学生の乗っている自転車と接触しそうになった。	自社敷地外の死角が多い場所には、誘導作業員を設置する。
25	自社電解室で	バード定着液を作るフィルター交換の際	フィルターケースと蓋の隙間から定着液が漏れてきた。	フィルターケースに定着液が流出すると、しっかり閉めていても重みで緩んでしまう為、再装着の際は液を入れてから閉めなおす。
26	一般道路で（港区）	廃棄物回収作業中	スチールロッカーを2人で運び、相手が声をかけずに急に地面に降ろした為に、右手がロッカーの下敷になってしまった。	荷物を降ろす時には、お互いに声を掛け合う。
27	一般道路で（葛飾区）	運転中	仕事で疲労が重なり、道が暗くなった関係もあるが、道を何度も間違え、時間も無く焦りが出た。特に問題は無かったが、こんな時に事故が起こるのだらうと思った。	必ず少しでも休憩し、落ち着いて正常な判断が出来る状態にする。

	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項
28	一般道路で	雪が降った翌朝で、まだ溶けていない道を運転中	交差点をゆっくりと安全に右折したつもりが、後部が滑り路肩縁石に接触しそうになった。直ちに周囲に危険を知らせ、安全に停車した。	前日に雪が降っていたら、チェーンの必要性を確認する。雪が残っていたら、運転を控える。
29	一般道路の交差点手前で	運転中	前車が急ブレーキを踏んだ為、接触しそうになった。	車間距離を十分にとり、時間に余裕をもって運転する。
30	一般道路の交差点で	運転中	右折ラインの無い交差点を、ウインカー点滅後に曲がろうとしたら、後方車輛が右側から追い越してきて、接触しそうになった。	右折時も左折時同様、バックミラーで十分確認し、追越されないよう右側に寄る。予想外の出来事がいつ起こるかかわからないので、常に注意が必要である。
31	一般道路の交差点で	トラックで右折しようとした時	トラックのフレームが死角になり、歩行者と接触しそうになった。	右折時は、周りの状態をよく確認し、直ぐ止まれる速度で走行する。助手がいる場合には、一緒に確認してもらう。
32	歩道の脇にある廃棄物の集積所で	塵芥収集車を道路脇に停車させ、廃棄物を回収している時	車から廃棄物が歩道に飛び出たしまい、横から来た自転車にぶつかりそうになった。	歩道脇の廃棄物回収時は、常に周囲の確認を怠らない。作業員同士、声を掛け合う。
33	廃棄物集積所で	クレーン付き塵芥収集車で、廃棄物が入った入れ物を吊り上げた時	吊り上げた廃棄物の下を、自転車が通り抜けて行った。	吊り上げ作業は、助手とクレーン運転手が対面して行うので、互いの死角をカバーし、声を掛け合いながら作業する。周りに注意し、廃棄物を地面に降るすまでは、下を通らせないようにする。
34	工場の出入り口で	道路に出ようとした時	停車中の車が死角になり、右から来た車に接触しそうになった。	道路に出る時は、必ず一時停止し左右の確認を慎重に行う。
35	現場で	積み込み作業中	トラックの荷台から飛び降りたら、下に鉄筋があり、危うく怪我をするところだった。	荷台からは飛び降りず、足掛けを利用する。
36	工場内で	トラックからの荷降ろし作業が終わり、バックで工場から出ようとした時	真後ろにいたフォークリフトに気付かず、接触しそうになった。	バックする時は、前後左右しっかり確認し、ゆっくり走行する。
37	現場で	クレーンにて積み込み作業中	荷物を吊り移動しようとしたら、地面に穴が開いておりクレーンが傾いた。	作業中は荷物だけでなく、周りにも注意が必要である。しっかり確認し、慌てず作業を行う。
38	工場内で	フォークリフトで荷降ろし作業中	リフトアップした状態のまま路面を走行し、転倒しそうになった。	リフトアップした状態での走行を禁止する。
39	工場内で	ローダーで荷降ろし作業中	リフトアップした状態のまま路面を走行し、転倒しそうになった。	リフトアップした状態での走行を禁止する。
40	工場内で	荷降ろし作業中	トラックのシートを剥がそうとしたら、荷台から落ちそうになった。	荷台上は、中央部を低い姿勢で移動し、縁には立たない。足元をよく確認すること。
41	現場で	荷降ろし作業中	ダンプアップの際、重心が片寄っていた為に横転しそうになった。	積載のバランスをよく考え、ダンプアップする際は、必ず確認する。

	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項
42	現場で	荷降ろし作業中	ダンプアップの際、片側のアオリが閉じていて、横転しそうになった。	ダンプアップの手順について、よく確認する。
43	工場内で	仕分け作業中に	同じ廃棄物を重機2台で処理中に、接触しそうになった。	周囲の状況をよく確認する。
44	一般道路で	狭い道を運転中	歩行者と接触しそうになった。	狭い道は、直ぐに止まれる速度で走行する。
45	一般道路で	運転中	窓のフレームが死角になり、人に気付かず接触しそうになった。	周囲の状況をよく確認する。
46	工場内で	重機の操縦中	人と接触しそうになった。	安全確認をもっとよく行う。
47	工場内で	重機の操縦中	ギアを入れ間違い、突然バックした。	一つの作業ごとに、しっかり確認する。
48	工場内で	ショベルローダーを操縦中	スピードがあまりにも速く、人と接触しそうになった。	速度の確認は随時行い、安全運転を心がける。
49	工場内で	重機の操縦中	眠気により、障害物と接触しそうになった。	体調管理をきちんと行う。
50	工場内で	ユンボ操縦中	作業員と接触しそうになった。	周囲の安全をもっとよく確認する。
51	工場内で	ユンボ操縦中	廃棄物を持ち上げたら、急に落下した。	周囲の確認を行い、慌てずゆっくり操作する。
52	工場内で	ユンボ操縦中	旋回したら、後ろに人がいた。	急に旋回せず、周囲の状況確認を行い、ゆっくり操作する。
53	工場内で	積込み、荷降ろし、切断、破碎作業中	非飛散性アスベストの取り扱い。	マスクなどの装備をし、水をかける。
54	一般道路で	夜、仕事を終え会社近くの土手を走行中	脇道からライトも点けずに車が飛び出てきた。	夜の土手沿いは危ないので、他車もライトを点けているだろうという思い込みが危険。走り慣れているからこそ、注意が必要である。
55	自社プラントで	ジョークラッシャーを稼働中	突然ジョークラッシャーが停止したので、電源を切り点検したところ、石が内部に詰まっていることが発覚。そこで、一人で点検口の蓋を持ち上げ、石を取り除き蓋を片手で閉めようとしたところ、蓋の重量を支えきれず勢いよく蓋が閉まった。手を置いていた位置が1cm程離れていたが無事だったが、もう少しで指先切断等の大事故になるところだった。	異物等の除去作業は業務マニュアルにより、2人で作業を行うこととなっているのに、1人で対処したことが原因である。緊急の安全会議を開き、業務マニュアルの再確認を行った。又、蓋の受金具を取付け、指等を挟まれないよう対処した。

	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項
56	現場で	アームロールで積荷を交換している時	手前からしか荷を入れられない為、重い荷が手前にしか積めずカタ荷になり、アームロールで上げて最後のセットをする瞬間に、ローラーから外れた。ゆっくり箱を下ろし、角材を支って難を逃れた。	基本に戻り、最後までしっかり確認する。
57	解体現場で	重機の近くで、木くずの積み込み作業中	コンパネ位の高さの時に、重機のツメが急に開き、トラックの下まで突き落とされた。	安全帯を着用し、周囲の安全確認を怠らない。
58	現場で（中目黒）	積み込み作業中	置場の前にパイプが置いてあり、その上に乗って廃棄物を運び出そうとしたら、パイプが移動し転びそうになった。	廃棄物置場の前に資材等がある場合には、退かしてから作業を行う。
59	現場で	積み込み作業中	ユニックで重量物を吊り上げる時に重機が浮いてしまい、壁や窓に吊り荷がぶつかりそうになった。	作業前の安全確認をしっかり行い、時間がない時ほど慎重に作業をする。
60	一般道路で	日没に作業を終了し、警備員の誘導でバックで車道に出ようとした時	自転車が無灯火で飛び出してきた。	警備員の誘導があっても、必ず自分の目、耳でよく確認する。
61	現場で	巻き込み式のパッカー車で収集作業中	廃棄物に塩ビ管が混入していた為、パッカー車に投入したら跳ね返ってきた。	廃棄物の中に異物が混入していないかよく確認し、作業を行う。
62	現場で	ユニック車で作業中	ブームが屋根に当たりそうになった。	荷物だけでなく、ブームの位置も確認しながら作業を行う。
63	現場で	廃棄物の積み込み作業中	鉄板を積んだ上に、ダンボールなどの紙くずが積んであり、上を歩いた時に足をとられ、荷台から落ちそうになった。	障害物が近くにある場合は、足元によく注意して作業を行う。廃棄物の上を歩かない。
64	工事現場で	廃棄物が積んである現場を、ダンプで徐行しながら一般道路に進入しようとした時	風が強かった為、横にあった自転車が倒れてダンプでひいてしまいそうになった。	周囲の確認を怠らない。廃棄物が積んである現場であれば、周辺の整理をしてから作業を行う。
65	現場で	木くずの型枠を台付きワイヤーで吊り下げている時	ワイヤーを外そうとしたら、両端の輪になっている部分に、近くにあった荷台が引っ掛かってしまい、ワイヤーが抜けて跳ね上がった。	ワイヤーの引き上げ時には、周辺をよく確認し、作業に必要な幅を確保してから行う。
66	高速道路で	料金所（ETC）を通過しようとした時	夕方だった為、西日が目に入りサイドミラーでの後方確認が十分に出来ず、一般レーンから来た乗用車と接触しそうになった。	太陽で確認が出来ないようであれば、サンバイザーで光を遮断するなど常に先を予測し、必ず目で確認を行う。
67	一般道路で	運転中	積んでいた建設廃材がシートの隙間から落ちそうになった。	滑りやすい廃棄物を運搬する場合には、ロープ等を使用し固定する。
68	高速道路で	走行中	前方車両から落下物が飛んできて、慌ててブレーキを踏み難を逃れた。道路が空いていたから良かったが、危うく大事故になるところだった。	車間距離を十分にとり、周囲の確認を怠らない。
69	一般道路で	運転中	追い越し車線を走行していた車が、方向指示器も出さずに、急に自車の前へ車線変更してきた。	周囲の状況を常に確認し、注意する。

	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項
70	一般道路で	走行中	バイクの急な割込みによって、急ブレーキをかけた。	予測運転をする。
71	交差点で	左折しようとした時	横断歩道は赤信号の筈なのに、自転車が飛び出してきた。	どのような状況でも、横断歩道の前では一時停止する。
72	一般道路で	廃棄物運搬中	強風の為、走行中にダンプのシートが裂けてしまった。	設備点検は、ゴムだけでなくシートもしっかり行う。
73	一般道路で	トラック運転中	地図を見ながら走行していた為、前方車両が停止したことに気付かず、追突しそうになった。	走行中に何かする場合は、車を停止させてから行う。
74	高速道路で	走行中	事故渋滞で車両が止まっており、前車が急停車した為に追突しそうになった。	車間距離をとって運転する。ハザードランプを点滅させ、後方車両に危険を知らせる。
75	工場内で	重機運転中	破碎機に廃棄物を投入しようとしたら、投入口付近に作業員がおり、事故になるところだった。	投入口の確認を必ず行う。
76	回収先で	コンテナの交換作業中	コンテナを上げたら、積荷が落ちてきそうになった。	積荷が崩れないように、ゴムバンドでしっかりと固定し、確認してから作業を行う。
77	事務所で	階段を下りる時	足を踏み外し、転げ落ちた。	滑りやすい場所には、改善、注意を促す。
78	高速道路で	走行中	平ボディー車が、自車の前へ車線変更した時にバウンドしたのか、アルミ製で2m程ある脚立が荷台から落ちてきた。車間距離があったので回避できたが、危うく事故になるところだった。	車間距離とスピードは、常に確認する。荷台の荷物はしっかりとロープで固定する。
79	自社構内で	車のバック誘導をしている時	ストップと言いながら合図を出したのに、後方の車に接触しそうになった。	もっと大声で誘導し、バックミラーで確認できる位置に立って指示を出す。
80	現場で	車を発進させようとした時	サイドミラーに歩行者用のガードレールが映り、慌ててブレーキを踏んだ。	乗車前は、車体回りの確認を怠らない。
81	一般道路で	車から降りようとした時	ドアを開ける寸前で、バイクが目の前を横切り接触しそうになった。	車から降りる時は、前後をよく確認しドアを開ける。
82	一般道路で	運転中	路上駐車車両がある為見通しが悪く、信号の無い交差点で、一時停止後ゆっくり発進しようとしたら、右側から勢いよく車が飛び出してきた。	見通しの悪い道路は、普段より慎重に二段階停止した上、徐行する。
83	回収先で	入庫しようとバックした時	バックブザーが鳴っているのに、親子連れがトラックの後ろを走り抜けた。	バックギアを入れたら一呼吸し、再度確認後に行動する。

	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項
84	交差点で	信号待ちをしている時	青に変わって発進しようとしたら、自転車が横から急に飛び出てきた。	発進前には前後左右をしっかり確認する。
85	交差点で	信号待ちをしている時	自転車の前へ、急にワゴン車が車線変更してきて停車した。危うく接触するところだった。	周囲の状況をよく確認する。
86	高速道路で	トンネルを抜けた時に	日差しが強く、慣れるまでに時間がかかってしまい、気付いた時には前車との距離があまり無く、接触しそうになった。	トンネル進入時にかかわらず、高速道路では常に車間距離を保つ。トンネル進入前には、前方後方の確認を怠らない。
87	交差点で	左側が左折ライン、中央・右側が直進ラインの3車線道路で、中央を走行中	左折ブイクが渋滞しており、自転車の前を走行していた車が左折しなかったのか、青信号にも関わらず信号機の下で急ブレーキをかけ停車した。車間距離をとっていたので問題なく停車できたが、追突されないかとヒヤヒヤした	後方の状況も常に確認しておく。
88	一般道路で	走行中	自転車と並行して走っていたバイクが、方向指示器も出さずに急に車線変更してきた。	常に周囲の状況をよく確認する。
89	現場で	収集作業中	バックで歩道を横切り駐車場へ入ろうとしたら、バックミラーに突然自転車が映り、急ブレーキを踏んだ。	確認する時は、もっと慎重に周囲の状況をよく見る。
90	一般道路で	交差点の信号待ちをしている時	左側の車が動き出したので、自転車も発進しようとしたら前車はまだ動いておらず、信号も赤だった。	状況を常に把握し、周囲に気を取られず自分で確認する。
91	現場で	パッカー車で廃棄物を収集作業中	回収場所を通り過ぎてしまったのでバックしようとしたが、後ろに車両が停車した気配があったので車を降りて確認したら、自転車との間に僅か1m程しか余裕がなかった。確認を怠れば事故になるところだった。	少しでも不安を感じた時は、必ず目で見て確認すること。
92	一般道路で	パッカー車で廃棄物を収集作業中	回収場所の前にトラックが停車していたので、その後ろに止めて作業を行い、終了後に発進しようとしたら、トラックの陰から突然人が飛び出てきた。	路上駐車の際の横を通る場合は、普段より周囲の状況確認を慎重に行う。
93	一般道路で	運転中	前車が青の矢印信号で急に止まってしまい、衝突しそうになった。	前車との車間距離は十分にとる。
94	一般道路の交差点で	パッカー車で廃棄物を収集作業中	十字路の交差点を利用し方向転換しようとしたら、横から車が迫っていて接触しそうになった。	周囲の状況が確認しにくい場合は、誘導者を設置する。
95	現場で	コンテナを降ろす為、ワイヤーを巻いている時	コンテナの位置が悪かったので直そうとしたら、結束に手袋が引っ掛かり、手も一緒に巻き込まれそうになった。	手を入れる場合には、必ず止めてから行う。
96	交差点で	左折しようとした時	左方向から、ゆっくりワンボックスカーが近づいてきたので、停車して待っていたら、運転席に人がいなかった。驚いて見ていると、後ろから運転手が現れ、慌てて停止させた。	自分もこのような事がないよう、注意する。
97	高速道路で	走行中	並走していたトラックが、突然車線変更して自転車の前に割り込んできた為、接触しそうになった。	並走する場合は、確認できる位置（死角に入らない）に移動する。突然の車線変更は、常に予測しておく。

	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項
98	一般道路の交差点で	交差点で信号待ちをしている時	信号が青に変わり発進しようとしたら、後方から突然バイクが自車の前に入ってきて、接触しそうになった。	ミラーや目視による後方確認を常に行い、危険を予測しながら走行する。
99	高速道路で	走行中	渋滞していた為進みが悪く、前車が発進したので自車も続いて発進したら、急にブレーキを踏まれ接触しそうになった。	注意するのは前車だけでなく、周囲の状況も把握する必要がある。
100	一般道路で	交差点を左折しようとした時	自転車が急に飛びだしてきた。	一時停止はしっかりと行い、左右確認する時は体の位置を変えて、危険がないかよく確認する。
101	一般道路で	走行中	10m程先の路地から、一時停止を無視したバイクが勢いよく飛び出してきた。	常に状況の確認を行い、いつでもブレーキを踏める状態を心掛ける。
102	一般道路の交差点で	走行中	青信号だったので左折しようとしたら、自転車が飛び出してきて接触するところだった。	青信号だからといって安心せず、いつ何が飛び出してくるか分からないと、常に考えながら運転する。
103	自社構内で	持込の運搬車を誘導している時	運転手がハンドルを切り過ぎて、近くにあった階段へ衝突しそうになった。	運転手が運転し易いように、周囲の状況を把握してもらいながら誘導する。
104	一般道路で	走行中	自転車が車道を走行しており、追い抜こうとしたら、よめいてきた。	自転車や歩行者の付近を通る場合には、スピードを落とし十分注意して通過する。
105	作業所内で	コンテナをフォークリフトで移動中	前進する事を大声で告げ移動し始めたら、急に作業員が目の前を通過した。急ブレーキを踏み、難を逃れた。	操縦者も注意が必要だが、付近の作業員も十分に注意する必要がある。
106	作業所内で	フォークリフトで移動中	バックで移動した後に、向きを変えて前進しようとしたら、直ぐ側に作業員がいた。	操縦者も注意が必要だが、付近の作業員も十分に注意する必要がある。
107	工場内で	分別作業中	コンボで木くずを破碎しているところに近づき過ぎた為、飛んできた破片に当たりそうになった。	近づく時は、手を上げるなどして合図を送り、作業を停止もらう。
108	一般道路で	橋の上を走行中	横から強い風を受けて、車が流されてしまった。	風の強い日などは、十分に速度を落として走行する。
109	高速道路で	4tプレス車で左側車線を走行中	右側車線を走行していたトラックが、突然自車の前に車線変更してきた。慌てて左側の路肩へ寄り事故は防げたが、危うく大惨事になるところだった。	いつ何があっても良いように、周囲の状況をよく確認しながら走行する。
110	一般道路の交差点で	走行中	信号が赤に変わり、ゆっくりと停車しようとしたら、前車に急ブレーキを掛けられ追突しそうになった。	車間距離を十分にとり、周囲の状況をよく見る。
111	一般道路の交差点で	右折をしようとして信号待ちしている時	右折の矢印信号が点いたので発進しようとしたら、対向車が赤信号にも関わらず自車の前を通過した。	信号が変わったからといって直ぐに行こうとせず、周囲の状況をよく確認してから発進する。

	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項
112	一般道路の交差点で	走行中	右折しようとして交差点に進入しかけたところ、自転車がすぐ目の前を通過し接触しそうになった。	交差点内は常に徐行をし、周囲の確認を怠らない。
113	一般道路で	アームロールで走行中	前方ダンプの荷台から、砂利が自車の前に落下し、接触しそうになった。	落下物がありそうな車両の後ろは、走行を避ける。車間距離を十分にとる。
114	一般道路で	アームロールで走行中	前のタクシーが、突然ハザードを点け停車した。	タクシーの後ろを走行する場合は、周囲の状況を常に確認し、車間距離を十分にとる。
115	現場で	コンテナのシートを剥がしている時	突然の強い風に煽られ、落下しそうになった。	風の強い日などは、いつも以上に注意する。
116	高速道路で	走行中	合流地点で、自車の前に一台乗用車が入ったところ、突然ブレーキを踏まれ追突しそうになった。	車間距離は十分にとり、合流地点などは特に注意する。
117	工場内で	積み込み作業中	3 tフォークリフトで、2.3 tの廃棄フォークリフトの屋根に爪を引っ掛けて2 m程持ち上げたら、屋根と本体を繋ぐパイプが折れて落下した。	本体周りのフックを利用して吊り上げるなど、荷のバランスを考え、不安定な状況をつくらない積み込み方法を十分に検討し、作業に入る。
118	一般道路で	自転車運転中	前輪ブレーキのワイヤーが前カゴの荷物で曲がってしまい、ブレーキを掛けたら急ブレーキになり転倒しそうになった。	運転前に点検する。
119	現場で	アームローダー車両で廃棄物の入ったコンテナを引き上げようとした時	コンテナが、しっかりとガイドレールの上に乗っていないが、レールから外れかけた。	確認を怠らない。
120	回収現場で	ポンプで廃液を回収中	ポンプにカムロックタイプのホースをジョイントして廃液を回収していたら、モーターの振動でカムロックが緩み始め、外れそうになった。	ホース側のカムロック、ポンプ側のカムロックは定期的に交換し、カムロックをしてもヒモ等で固定する。
121	一般道路の交差点で	大型車両を運転中	左右確認して交差点へ進入したが、サイドミラーに人影があり直ぐにブレーキを掛けた。徐行運転だったので止まれたが、もう少しで人と接触するところだった。	周囲の確認はしっかりと行い、横断歩道を横断する時は、いつでも止まれる速度で通過する。
122	一般道路で	運転中	歩道を走っていた自転車が急に道路に飛び出してきた為、接触しそうになった。	いつ何が飛び出してきても良いように、周囲の確認をよく行い、安全運転を心掛ける。
123	一般道路で	中型車両を運転中	左右確認して交差点を左折しようとしたら、車の直ぐ左脇に人がいた。周囲が暗かった為気付くのが遅くなり、危うく大事故になるところだった。	交差点手前では一時停止をしっかりと行い、周囲が暗い場合には、いつも以上に十分な確認を行う。